



※収穫時期は8月下旬まで



白いトウモロコシ農家
辻岡 充さん 明美さん 千宙さん(千振)
那須ブランド
「那須高原 辻岡農園の白いとうもろこし」

「子どもを地元で育てたいと考え、那須に戻ってきました」と話すのは、那須連山が臨める畑で、白いトウモロコシを栽培している辻岡充さん。10年前会社員を辞め、家族で地元に戻り就農しました。現在は、5haの畑で白いトウモロコシのほか、ネギやトマト、きゅうり、なす、レタスなど50種類のさまざまな野菜を育てています。辻岡さんの育てている白いトウモロコシと黄色のトウモロコシとの違いは、糖度が高く生でも食べられることで、那須ブランドにも認定されています。

「農業のやりがいは家族みんなの仕事ができること。良いトウモロコシには、実が穂先までぎっしりと詰まっていますが、辻岡さんの白いトウモロコシには、家族みんなの笑顔もつまっています。」

短歌

◎今月号の遊行柳の投句は該当作品がありませんでした

白雲のたなびく筑波峯もちに見ゆ
古河の渡しはとわなりけり
移り来て庭に鶯のささ鳴きを
手を止めて聞く午後の一とき

西 尚男
守屋はるみ

俳句

那須文芸

風之音に振り返りたる夕晩夏
坂道の家覆いたる百日紅
針の穴通る虫の音晩夏かな
さるすべり七橋八坊寺の町
百日紅墓の仕守りし色残す
さるすべり祈るほとけに日の光
絵日記に書く事もなく夏終る
隣接の堺目印さるすべり
寛水水面に映るさるすべり
墨鼻に習字睨るや夏終る
初秋や歡喜飛び交う川下り
新秋や法話に心浄めらる
新秋やひと風抜けし寝入ばな
手枕の寢息おだやか秋初め
初秋の心はずめる厨かな
拝啓につづく文言秋はじめ
西瓜切る母の手元を六つの目
遺されしひとりの居間に虫の声
ふるさとのおやき供えて魂祭

須藤さよ子
渡辺 愛子
深沢 千郷
松本 和子
益子みどり
杉浦 公子
五月女加代子
伊藤 栄子
深沢 為寿
大場 芦山
高久 巻江
杉本 美風
池田 裕子
井上 均
井上 博子
中込とし郎
丹野 セツ
高畑 和子
中島 君江

広報「那須」がパソコン・スマートフォンで読めます

県内の広報紙などをまとめた電子書籍ポータルサイト「トチギーブックス」に広報「那須」が掲載されています。

電子書籍なので、本をめくる感覚で閲覧することができます。(専用アプリのダウンロードは不要です) ぜひご活用ください。

URL : <http://www.tochigi-ebooks.jp>



那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 9月19日(木)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課秘書広報係 ☎72-6901